あなみず
議会だより

2026 vol. 56
令和８年５月１日発行
石川県穴水町議会

辞職のお知らせ・就任のご挨拶・予算の概要【令和８年度】・・・２
予算決算特別委員会での審議・・・・・・・・・・・・・・・・３
予算決算特別委員会での意見等・・・・・・・・・・・・・・・４
補正予算の概要・常任委員会での意見・人事案件・・・・・５
２月臨時会・３月定例会　議案一覧・採択状況・・・・・６～７
一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

濱﨑音男議員 辞職のお知らせ

3月定例会において体調不良を理由に辞職願を提出した濱﨑音男議員の辞職が許可されました。

議員は、昭和62年4月に初当選され、10期39年間の長きに渡る町議会議員の間、議長を3回、副議長を1回歴任し、さらに、平成27年5月から令和7年3月まで監査委員も兼任するなど、豊富な知識と行動力をもって、町の発展及び町政の伸展と議会の円滑な運営にご尽力されました。

これまでのご功績に対し尊敬と感謝を申し上げます。

穴水町議会議員就任のご挨拶

令和6年能登半島地震を受け、復旧には地元の建設業者、復興には地元に根付く町の小規模事業者の再建なくして真の復旧・復興は無く、地元事業所の元気が町民一人一人の元気につながると考えます。

町民の声はもちろん、各事業所の小さな声にも耳を傾け、町政に届けることで、震災からその先へ5年後・10年後を皆様とともに考えていける議員を目指し、住みよい町づくりに努めてまいります。

苗代勇仁（なわしろ としひと）

令和８年度当初予算の概要

会計			令和８年度	令和７年度	増減率
一般会計（うち震災関係）			262億4,730万円（181億8,435万円）	244億5,100万円（168億3,626万円）	7.3%
特別会計	国民健康保険		10億8,240万円	11億232万円	▲1.8%
	介護保険		14億9,145万円	14億8,803万円	0.2%
	後期高齢者医療		1億9,031万円	1億8,324万円	3.9%
企業会計	病院事業	収益的	28億1,874万円	26億7,241万円	5.5%
		資本的	1億3,009万円	3億4,760万円	▲62.6%
	水道事業	収益的	3億7,172万円	3億3,641万円	10.5%
		資本的	6億8,446万円	7億2,084万円	▲5.0%
	下水道事業	収益的	4億4,024万円	3億1,607万円	39.3%
		資本的	17億4,699万円	27億4,072万円	▲36.3%
合計			352億　369万円	343億5,865万円	2.5%

※企業会計は、支出額を計上

予算決算特別委員会での審議

令和８年度当初予算を慎重に審議した結果、全会計総額352億円余りを原案のとおり可決しました。審査内容の中から主なものをお伝えします。

○職員人件費（震災分）　3,606万円
問：道路管理の人員を増やして、応急復旧作業に従事させられないか
答：適当な人材がいれば検討したい

○集会施設再建事業　1億5,000万円
問：前波集会所再建で、ハザードマップのレッドゾーンが候補地選定の妨げとなっている
答：レッドゾーンの境目で、候補地を検討している

○集会所等機能強化支援補助金　500万円
問：機能強化支援の詳細は
答：エアコンについては、地震前から地区の要望で8割補助で設置している。地域で協議し必要となるものについて、町が支援を行う

○地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金　1億7,500万円
問：事業終了の見込みは
答：すぐに終了とはならないと考えている

○宿直業務委託料　1,000万円
問：夜間の対応は大丈夫か
答：基本は電話対応が中心。業者が対応できない時は、職員に連絡し対応する

○復興未来づくり会議経費　104万円
問：地域の方を集め、いきなり会議を開いても良い案が浮かばないのでは
答：事前に自治会を通して、趣旨などを知らせる

○甲分団拠点施設新築事業　4,000万円
問：復興公営住宅予定地内に、必要面積は確保できるのか。周辺住民に説明はしたのか
答：必要とする面積は伝えてある。周辺住民への説明と理解を得て最終的な新設場所を決定する

○戦没者忠魂碑修繕費等事業　585万円
問：補助金の申請者は誰か
答：地域コミュニティ事業を活用しているので、区長と住民、遺族会で話し合い、区長が申請する

○フッ化物洗口事業　18万円
問：何歳から対象か
答：年中児(4歳)・年長児(5歳)が対象

○妊娠まるっとサポート事業　788万円
問：現時点の令和7年度実績は
答：妊娠期サポートは11件、医療費・交通費サポートは14件

○長谷部まつり実行委員会補助金　1,650万円
問：屋形船や灯篭流しは中止か
答：来年度の実行委員会で詳細を決定するが、屋形船は募集してもエントリーがない現状。灯篭流しはランタンに変更している
問：パレードが夕方実施とあるが、信連公行列も夕方か
答：熱中症対策もかねて、15時以降の実施を検討

○のるーと穴水（仮称）事業　369万円
問：バス停の場所は
答：既存のコミュニティバス及び路線バスのバス停を活用する
問：どこが運行するのか
答：シルバー人材センター、恋路観光を予定

○ふれあい文化センター宿泊棟建替事業　3億1,922万円
問：何部屋を想定しているか
答：災害復旧事業のため、原則、今ある部屋数となる

○埋蔵文化財センター解体工事　5,500万円
問：解体後新たに建設する計画は
答：今のところ予定はない。資料については、一旦、旧兜小学校の空き教室に移動する

○病院医療機器導入（更新）事業　2,381万円
問：医療機器などの経年劣化はあらかじめ分かっているため、遠慮なく予算要望すべき
答：優先度や緊急性の高いものなど、計画的に実施したい

○地域活性化起業人事業　590万円
問：事業内容は
答：地域おこし協力隊を任期満了後町に定着させるため、民間企業の社員の派遣を受け、3年間サポートする事業

○キャッスル真名井の解体について
問：どのように考えているか
答：周辺を含め、跡地利用を決めた上で解体を進める

○応急仮設住宅の目的外使用について
問：目的外使用ガイドラインに沿って使用するとあるが、どのように使用するのか
答：8年度は中長期派遣職員や公立穴水総合病院に勤務する医療従事者等の宿泊先として使用する

予算決算特別委員会での意見等

さまざまな意見が出ました！

01

令和６年能登半島地震により被害を受けた道路等の応急補修工事が実施されているが、２年が経過し本復旧工事が思うように進まない中で、補修箇所は再度補修が必要な状況になっている。補修の要望に迅速に対応できるよう人員の確保に努めること

02

各地区にある集会所は、住民の災害時の避難場所となる施設である。その集会所が解体され、災害が起きた時に避難する場所がない集落がある。可能な限り早い再建に努めて頂きたい。
また、今回「集会所等機能強化支援事業」を拡充して電化製品の購入やシャワー室の設置が可能となった。しっかり、各地区に周知をお願いする

03

生活に必要な移動手段を確保するため、令和８年秋頃からＡＩオンデマンドバスの実証運行が開始される。町民には、分かりやすいリーフレットを作成し、周知を図って取り組むように

04

新たな仮設商店街の建設にあたり、穴水町商工会を始め、金融機関と飲食店２店舗が入居することになっているが、周辺には駐車場が不足している。駐車場の確保に努めること

05

一部施設において、消防用設備点検等で指摘されたことが現在も改善されていない状態であることが分かり、予算計上されている。人が集まる施設であってはならないことであり、他の施設でもないか確認をすること

06

新たな施設の建設に伴い、今まで使用していた施設の機能が集約されることで、これまでの施設がどうなってしまうのか、十分に検証し、今後の利用計画をたてること

07

新たな施設の建設にあたって、関係する委員会や委員の意見も十分に聴衆し、より良い施設の建設に努めてほしい

08

災害が発生すると、学校施設や体育館が避難所として利用され児童・生徒の学習の場が長期間に渡り使用できない状況になる。災害に強い施設の建設を検討して頂きたい

09

町民テニスコート（B&G）の改修にあたり、コートの向きを検討してほしい

補正予算の概要【令和７年度】

会計			１月補正（専決）	２月補正（専決）	３月補正	予算額（補正後）
一般会計			2,727 万円	1 億 7,873 万円	1 億　696 万円	279 億 2,750 万円
特別会計	国民健康保険		－	－	▲250 万円	12 億 1,058 万円
	介護保険		－	258 万円	215 万円	15 億 2,685 万円
	後期高齢者医療		－	－	1,100 万円	1 億 9,719 万円
企業会計	病院事業	収益的	－	2,490 万円	5,730 万円	27 億 5,461 万円
		資本的	－	－	－	3 億 6,608 万円
	水道事業	収益的	－	641 万円	625 万円	3 億 6,327 万円
		資本的	－	－	39 万円	8 億　950 万円
	下水道事業	収益的	－	－	－	3 億 2,462 万円
		資本的	－	－	6 億 5,000 万円	33 億 9,072 万円
合計			2,727 万円	2 億 1,262 万円	8 億 3,155 万円	388 億 7,092 万円

※企業会計は支出額を計上

◆ 主な事業

○ 下水道費　**7 億 720 万円**

下水道事業会計への貸付金及び繰出金
貸付金　6 億 5,000 万円
繰出金　5,720 万円

○ 道路維持修繕費　**140万円**
大雪による除雪費用の増額

○住宅管理費　**279万円**
町営由比ケ丘住宅解体工事に伴うアスベスト除去費の増額

総務産業建設常任委員会での意見

■ 穴水町過疎地域持続的発展計画は、人口減少が著しい過疎地域の自立促進と住民福祉の向上を目指すために作成し、財政上の特別措置を受けることができる。計画には、令和８年度から１２年度の５ヶ年の各分野における事業計画が挙げられ、令和６年能登半島地震の発生で復旧事業が優先されると思うが、事業の詳細な投資的経費計画を定め、財源確保に努めること

教育民生常任委員会での意見

■ 本定例会において「穴水町手話言語条例の制定」が上程され、自治体の果たす役割が明記されていることから、手話言語の理解と普及などの環境整備に努めること

■ 民生委員や町内会長、区長など行政運営の手助けをして頂ける方が高齢化で不足している地区が目立ち始めている。業務の見直し、地区の再編など検討し、地域のコミュニティ維持に努めること

■ 来年度実施される穴水町防災訓練は住民に広く周知を図り、町防災士会や地区防災組織などとも協力し、住民一人一人が防災に関する意識を高め、正しい知識と行動がとれる訓練となるよう工夫してほしい

人事案件

議案第11号　穴水町副町長
（任期：令和８年４月１日～令和 12 年３月 31 日）
宮崎　髙裕　氏（川島）再任

議案第12号　穴水町､輪島市穴水町環境衛生施設組合公平委員会委員
（任期：令和８年４月１日～令和 12 年３月 31 日）
吉岡　俊宏　氏（中居）再任

議案第47号　穴水町監査委員（議選監査委員）
（任期：令和８年３月 19 日～令和９年４月 27 日）
伊藤　繁男　議員（川島）新任

一般質問傍聴者からの意見

- 答弁者に対して、もう少しゆっくり、はっきりした発音で話す努力を
- 答弁が「検討する」となった場合、検討した結果がわかる広報を
- 議会のライブ中継をしてほしい
- 会議等の受付で名前を書かされるがなんのためか、個人情報であり人数把握や慣習で行っているのであれば止めるべき

令和８年第１回穴水町議会 ２月臨時会 議案一覧と採決状況

会期：令和８年２月12日

番号	議案名	可否	摘要
議案第１号	令和７年度穴水町一般会計補正予算（第７号）	原案可決	全員賛成
議案第２号	令和７年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第３号	令和７年度穴水町病院事業会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第４号	令和７年度穴水町水道事業会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第５号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第６号	穴水町仮設商店街施設整備工事（第２期）請負契約の締結について	原案可決	
議案第７号	6災5425号町道鹿島線ほか３路線道路災害復旧工事請負変更契約の締結について	原案可決	
議案第８号	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 斜面対策工事（城山）請負契約の締結について	原案可決	
議案第９号	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 斜面対策工事（地蔵坊）請負契約の締結について	原案可決	
議案第10号	財産の取得について	原案可決	

報告第１号	令和７年度穴水町一般会計補正予算（第５号）の専決処分の報告について	原案承認	全員賛成
報告第２号	令和７年度穴水町一般会計補正予算（第６号）の専決処分の報告について	原案承認	

※ 浜崎音男議員は欠席

令和８年第２回穴水町議会３月定例会 議案一覧と採択状況

会期：令和８年３月４日～３月１９日

番号	議案名	可否	摘要
議案第11号	穴水町副町長の選任について	原案同意	全員賛成
議案第12号	穴水町、輪島市穴水町環境衛生施設組合公平委員会委員の選任について	原案同意	
議案第13号	令和８年度穴水町一般会計予算	原案可決	
議案第14号	令和８年度穴水町国民健康保険特別会計予算	原案可決	
議案第15号	令和８年度穴水町介護保険特別会計予算	原案可決	
議案第16号	令和８年度穴水町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
議案第17号	令和８年度穴水町病院事業会計予算	原案可決	
議案第18号	令和８年度穴水町水道事業会計予算	原案可決	
議案第19号	令和８年度穴水町下水道事業会計予算	原案可決	
議案第20号	令和７年度穴水町一般会計補正予算（第８号）	原案可決	
議案第21号	令和７年度穴水町国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第22号	令和７年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	
議案第23号	令和７年度穴水町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第24号	令和７年度穴水町病院事業会計補正予算（第３号）	原案可決	

番号	議案名	可否	摘要
議案第25号	令和７年度穴水町水道事業会計補正予算（第４号）	原案可決	全員賛成
議案第26号	令和７年度穴水町下水道事業会計補正予算（第４号）	原案可決	
議案第27号	穴水町児童福祉法に基づく乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	
議案第28号	穴水町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	
議案第29号	穴水町手話言語条例の制定について	原案可決	
議案第30号	職員等の旅費に関する条例等を改正する条例について	原案可決	
議案第31号	穴水町手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第32号	穴水町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第33号	穴水町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第34号	穴水町火入れに関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第35号	輪島市穴水町環境衛生施設組合規約の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決	
議案第36号	6災5421号町道中居線道路災害復旧工事請負変更契約の締結について	原案可決	
議案第37号	6災5426号町道乙ケ崎鹿島線道路災害復旧工事請負変更契約の締結について	原案可決	
議案第38号	令和７年度 穴水小学校校舎解体工事請負変更契約の締結について	原案可決	
議案第39号	令和７年度 向洋小学校災害復旧工事（建築・繰越）請負変更契約の締結について	原案可決	
議案第40号	穴水駅前観光物産施設の指定管理者の指定について	原案可決	
議案第41号	のとふれあい文化センター等の指定管理者の指定について	原案可決	
議案第42号	穴水町営ゴルフセンターの指定管理者の指定について	原案可決	
議案第43号	穴水町過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決	
議案第44号	穴水町役場庁舎令和６年度能登半島地震災害復旧工事（建築）請負契約の締結について	原案可決	
議案第45号	岩車漁港（大規模査定6災1105号ほか）災害復旧工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第46号	林道災害復旧事業林道大坪線6年災0703工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第47号	穴水町監査委員の選任について	原案同意	

賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	議決結果	苗代	宮本	小谷	佐藤	湯口	山本	大中	伊藤	小坂
発議第１号	穴水町議会学校施設等検討特別委員会の設置について	可決	賛成	賛成	賛成	―	賛成	反対	賛成	賛成	賛成

※議長は採決に加わらない

発議第１号

学校施設等検討特別委員会を設置

令和 6 年能登半島地震で被災した町立穴水小学校の建設に合わせ給食調理場のほか、住民も利用できる町立図書館や屋内プール、小ホール、フィットネスジム、放課後児童クラブなど、多様な施設が計画されている。

学校施設は地域コミュニティ及び災害時の避難所としても大事な施設であり、その機能を備えることも求められ、各種施設が集まることでセキュリティ面も心配されます。

議会として、「穴水小学校建替基本計画」の全般について、色々と確認や情報収集、検討を重ねて、熟議することが重要であります。

ついては、地域の皆様の声を受け止めながら、学校施設及び社会教育施設に関するご意見を公聴し、議会において継続的に議論を重ね、本計画に関する情報を広く周知し、町と一体になって、未来に向けて、より良い学校施設及び社会教育施設が建設されるよう特別委員会を設置しました。

委員長　伊藤繁男議員、　副委員長　小谷政一議員、　委員　他全議員

小坂　孝純 議員

穴水小学校跡地の利活用の計画は

跡地利用を検討し方向性や方針が見えた段階で提案する

問　穴水小学校跡地の利活用の計画は

答　現時点では未定。議員や町民の意見を聞きながら、跡地利用を検討し、方向性や方針が見えた段階で提案する　（吉村町長）

問　石川県精育園の進捗は

答　石川県としては、障害者が暮らし続けられる社会の実現、地域との繋がりによる地域移行と共生の促進、障害者支援の質の向上を目指すとともに、地域住民も利用できる開かれた施設となるよう検討していきたいとのこと。さらに、この地域に移転することで職員の雇用確保に寄与するだけでなく、町全体の賑わい創出に繋がると期待している。県では、精育園移転検討委員会や町民の意見を聞きながら、町と協議し、検討を進めていくとのこと　（宮崎副町長）

問　穴水湾に投石を県に要望するなど、一次産業の強化と後継者問題の解決策は

答　県は平成25年から26年度の2ヵ年にかけ、甲地区の沖合1kmの地先に10基の漁礁の設置と自然石3053㎥の投石事業を実施。町事業で、平成26年度に新崎地区の地先で自然石259㎥の投石事業を行ったが、藻場の減少が進行し、漁業の水揚げ量に影響が生じている。県の計画と併せ、石川県漁業協同組合と相談しながら町としても効果的な対策を検討していく。

後継者問題については、持続可能な農林水産業への取り組みと、地域が稼ぐ力強化に向け支援を行っていく　（金谷地域整備課長）

保育士資格取得に対する町の支援は

保育士就職促進奨励金、保育士資格取得助成金、保育補助者配置に係る補助などきめ細やかな助成制度を設けている

湯口かをる 議員

問　現在、受入れ側の都合で保育所へ入所できない等の事例はないのか

答　令和8年度の保育所・認定こども園利用申込では、待機児童はゼロ。国の基準である「配置を要する保育士の数」は、最低限を維持している　（谷口子育て健康課長）

問　0歳から2歳児を対象とした在宅育児家庭への支援制度をどう考える

答　自治体から給付金を支給する制度「乳幼児家庭保育支援給付事業」を既に実施している自治体が数例あるのは承知しているが、独自の給付事業であることから、事業のあり方・制度の構築について研究していく　（谷口子育て健康課長）

問　町の保育士不足に対する町長の考えは

答　保育士不足は全国レベルでの問題であり、抜本的な施策を国及び県にも要望し、今後とも頑張っている保育士、これから保育士を目指して頑張る人へのサポートを継続実施し、保育士不足解消に繋げていく　（吉村町長）

保育士不足の現状における今後の対策について

問　保育士資格取得に対する町の支援は

答　町ではこれまで、保育士就職促進奨励金、保育士資格取得助成金、保育補助者配置に係る補助などきめ細やかな助成制度を設けている。現在、保育士資格取得を目指す方々への周知活動を継続して行っていく　（谷口子育て健康課長）

問　令和7年度穴水町防災訓練の成果は

答　参加者が防災に関する様々な知識を習得することができる良い機会となり、危機感の共有や備えの見直しなど、防災を「自分ごと」としてとらえるきっかけとなった。一般の参加者が想定よりも少なくなり、課題が残る結果となった。令和8年度の訓練では、町民一人ひとりの防災に対する理解と協力体制の強化を図るとともに、防災士が地域のリーダーとして活動を行ってもらうことで、役割を再認識していただき、地域の防災力の強化に繋げたいと考えている　（小林環境安全課長）

問　人命を守る防災対策の検討と今後の取り組みは

答　町の最優先の責務は、町民の生命と財産を守ることである。町の中心部で津波対策や洪水対策での利用可能な高い建物は限られており、今のところ、既存の施設を最大限に活用することになる。

新穴水小学校校舎及び体育館の建設や、穴水駅周辺の再整備など、防災の視点をしっかり取り入れ、防災拠点施設としての機能を盛り込んでいく考えであり、避難所を含めた防災拠点機能を町の中心部全体で配分し、平常時の利活用も含め、面的な防災体制を構築したいと考えている　（吉村町長）

※一般質問は順不同です。

小谷　政一議員

目的地穴水となる観光施設整備をすればどうか

観光施設整備の中で検討する

問　穴水町商店振興会と協議し、商店街に花で人を呼び込むことはできないか

答　町商店振興会と協議した上で、地域住民が主体となり取り組むことが重要であり、その活動に対し町として各種補助制度を活用し後押ししていきたい　（中島観光交流課長）

問　石川県精育園の誘致について、反対意見はなかったか。また、調整池について、県とどのように協議が進んでいるか

答　周辺道路事情等の意見はあったが、反対意見はなかったと聞いている。調整池の必要性は、県及び町でも十分理解しており、引き続き協議すると聞いている。どのように整備するかは、今後、県と協議を進めていく　（宮崎副町長）

目的地穴水となる花公園やマリーナ整備について

問　能登長寿大仏を含めた乙ヶ崎から新崎の山林に花公園の整備と由比ヶ丘台地からジップラインを渡し「花とスリルと大仏」3点セットの観光スポットを整備すればどうか

答　整備に要する多額の事業費や維持管理費、更には用地の選定など、課題も多いと思われるので、今後の観光施設整備の中で検討していく　（金谷地域整備課長）

問　乙ヶ崎地区でマリーナの建設を石川県と協議しては

答　まずは、穴水港や宝山マリーナの早期復旧を目指す。マリーナ整備は、復旧後の利用状況を踏まえ機会を捉え県に要望していく　（金谷地域整備課長）

苗代　勇仁 議員

商店街の再生は

新たなにぎわい創出に向けた商店街の再構築に努める

問　解体を望む家屋があれば、公費解体同様の制度で対応することはできないか

答　自費解体の延長について、国や県に働きかけ、令和8年度も実施できる見込みである　（小林環境安全課長）

問　既存店舗・商工会・行政が一体となりサポートする仕組みを構築し、商店街の再生は出来ないか

答　引き続き商工関係者と連携しながら町内の小規模事業者へのサポートを図り、新たなにぎわい創出に向けた商店街の再構築に努めていく　（吉村町長）

問　穴水高校と連携し知名度のある指導者・アスリートを招致し小中高エスカレートで穴水の学校を選べる仕組みづくりを。必要な施設は、今回の複合施設の中に組み込めないか

答　高校とのスポーツ連携には工夫が必要であるが、異なる世代が一緒にスポーツ活動に取り組むことは、競技力の向上に繋がることが期待でき、穴水小学校の建て替えに関する施設整備に際しては、充実した学校教育環境の整備、高校や町民の一般利用の場ともなるスポーツ施設の充実に向け、機能的な施設となるよう検討を進めていく　（松尾教育委員会事務局長）

※一般質問は順不同です。

宮本　浩司 議員

町監査委員について必置の意義は

住民の福祉の増進と町政への信頼確保に繋がっているもの

建物の滅失登記について

問　滅失登記申出が遅れた事による、所有者への不利益は

答　町から法務局への滅失登記申出は、公費解体完了立会後、3日以内に申請者へ完了通知を発出し、同日法務局へ申し出を行っている。長期間未申請であることはない。町税については、公費・自費解体対象家屋資料に基づき固定資産税・都市計画税課税台帳より抹消しているので不利益はないと考える。法務局では職権で建物滅失登記ができない旨の通知を受領した後、未申請のままであった場合の所有者等の不利益は把握していない

（小林環境安全課長）

問　職権での滅失登記にあたり、法務局へはどのような情報を提供するのか。また所管課は

答　家屋番号等の対象建物の現登記情報、解体建物の工事完了日や延べ床面積、画像データや図面、解体に係る確認書、そして法務局が滅失登記の結果を案内するための申請者名及び住所を提供する、所管は、環境安全課

（小林環境安全課長）

問　職権による滅失登記が対象外となった場合、町から所有者への対応は。さらに、各業務の件数は

答　法務局から対象外となった旨の結果を申請者に送る際に、登記の変更に関する案内等も同封しており、町から申請者に連絡は行っていない

■公費解体・自費解体の各件数は公費解体2742件、うち自費解体42件

■登記官職権による滅失登記の件数は1208件

■登記官職権による滅失登記の対象外となった件数は917件

■登記官による滅失登記の対象外となり、所有者や土地家屋調査士の申請による滅失登記が行われた件数は、把握していない

（小林環境安全課長）

町監査委員について

問　必置の意義とその成果についての見解や認識は

答　一人ひとりが単独で監査を行い、結果や意見は双方の合意で意見書が作成され、その結果を町民に広く知らせることで、町が行っている行政サービスが適法であり、効率よく行われていることが周知され、住民の福祉の増進と町政への信頼確保に繋がっているものと考える

（吉村町長）

問　決算審査の公表及び指摘・要望を受けた場合の対応は

答　決算審査の結果は、歳入歳出決算審査意見書としてホームページで公表。また、一部を要約し広報あなみずにも掲載し、町民に公表している監査委員からの指摘・要望事項に対する措置の内容は、各課において真摯に受け止め、すぐに実施可能な事項については、積極的に取り組み、予算が伴うものについては、慎重に課内で協議を重ね、予算編成に向け対応されているものと認識している

（吉村町長）

問　令和6年度、7年度に実施した定期監査・決算審査での指摘・要望事項等の件数は

答　■令和5年度決算審査では、指摘事項1件、要望事項2件。令和6年度定期監査では、指摘事項9件、要望事項6件。令和6年度決算審査では、指摘事項6件、要望事項8件。令和7年度定期監査では、指摘事項7件、要望事項14件。

■令和6年度中に指摘・要望を受け、同年度中に措置した件数は9件。令和7年度中に措置した件数は6件。

■令和7年度中に指摘・要望を受け、同年度中に措置した件数は16件。令和8年度に措置を予定している件数は16件であり、主なものでは、子育て世代の人口増加に繋げる施策として、出産祝金の拡充を図り、県内で一番の祝い金としたこと、あなみず学生生活応援事業では、支援額を3万円に増額したことや、B&G海洋センター体育館及び武道館の空調設備設置に向けての実施設計費などが挙げられる

（吉村町長）

※一般質問は順不同です。

大中　正司議員

復興公営住宅団地内での集会所の整備予定は

現段階では上野地区のみ計画している

問　合葬墓整備に向けどのような調査・研究をしたのか。町の方向性は決まったのか

答　県内19市町のうち11市町で整備又は整備予定であり、輪島市は整備済み、能登町と珠洲市では整備を予定。震災後、需要が見込まれていることから、今後の整備にあたっては、維持管理費が抑制される埋葬型の合葬墓やモニュメントのみとする形態も選択肢の一つと考えている。しかし、本町での整備については、宗教法人から「永代供養墓地を含めた霊園の設置」の相談もあり、引き続き民間の動向を注視しながら、復興計画に基づき、中・長期的に検討していく

（小林環境安全課長）

復興公営住宅団地内の集会所について

問　他の復興公営住宅団地内での整備予定は

答　現段階では、上野地区のみの予定

（金谷地域整備課長）

問　利用目的に制限を設けるのか

答　復興公営住宅整備に係る集会施設となるため、居住する方のコミュニティが優先されるが、近隣自治会の利用も可能で、生活支援や防災拠点、住民自治の運営、合意形成の場として活用して欲しい

（金谷地域整備課長）

問　近隣の町内会などにも利用を拡大することで、地域全体のコミュニティが形成されるのでは

答　団地内に自治会を設け、管理を依頼する予定。特に制限を設けるのではなく、地域住民の交流の場として活用して欲しい

（金谷地域整備課長）

多世代交流センターａｍｉｚａについて

問　施設内で行われる事業内容と開始時期は。入浴施設整備の概要を問う

答　3月26日の完成式典ののち、4月のオープンを予定とのこと。交流センター専用の玄関を通り、エントランスホールにはコワーキングスペースとしての施設や、土・日・月曜日に一時預かりが出来る地域子育て支援拠点施設、レストランがある。また、企業が地域のために防災備蓄倉庫を設置し、災害発生時の帰宅困難者対策に活用できるようになっている。入浴施設については、施工主が物価高騰や人材確保が困難と判断し断念している

（金谷地域整備課長）

問　入浴施設を断念したことへの説明があっても良いのでは

答　入浴施設について、一時期検討したが持続可能な施設運営を図る上で困難と判断し、計画を断念した

（吉村町長）

町長の選挙運動について

問　街中を歩いて支援を呼び掛ける行動は、公職選挙法では合法か

答　地位を利用した運動であるか否か、取り締まりを行う部局が最終判断するもので、町選挙管理員会が判断できるものではない

（北川総務課長）

問　公的な立場である町長としては今後慎むべきではないか

答　一人の政治家としての信念を持った行動であると理解して欲しい

（吉村町長）

※一般質問は順不同です。

穴水町議会
2026年（令和8年）5月1日発行

町民インタビュー
守田 三枝子さん（川島）

今回は、穴水セーフテイドライバーズクラブの会長を務められた守田三枝子さんを紹介します。

Q 穴水セーフティドライバーズクラブとは

本会は、「交通安全の精神に則り、交通法規を遵守し互いに研修し、併せて会員相互の親睦をはかることを目的に、穴水町に在住する女性で、自動車免許証を有する者をもって組織する会として昭和 60 年に設立しました。

数々の表彰を受けた長年の活動

Q 永年実施されてきた年間の活動は

年4回の交通安全週間におけるキャンペーン、交通安全旗の掲揚、バレンタインチョコの配布「ちょこっと交通安全啓発」、小学校児童見守り隊、反射材の配布などです。長年の継続活動が認められ、平成 15 年交通安全国民運動中央大会で「交通安全優良団体表彰」他、数々の表彰を受けました。

Q 皆さんの 40 年間の長きにわたる活動、本当にご苦労様でした。解散に至った経緯は

この度の令和 6 年能登半島地震では、会員個々の住環境の変化と会員の高齢化等、今後の活動の継続が困難となり、令和 8 年 3 月 31 日をもって、解散に至りました。

Q 町や議会に望むことは

私達が掲げた「子どもと高齢者を悲惨な交通事故から守ろう」のスローガンを是非、次世代に引き継いでいただき、交通事故のない安全安心な穴水町になることを願っています。

小学校児童見守り隊

（　インタビュアー：湯口かをる　）

編集後記

昨年末に同期当選の小泉氏が亡くなられ、そして前定例会において先輩議員の浜崎氏が議員辞職されました。

10期の長い間、町議会議員として議会と町政の発展に尽力され、私も議員となってからは、時には叱られ、時にはご指導賜ることで私自身としては充実した、かつ有意義なお付き合いをさせていただきました。

浜崎氏との尽きぬ思い出とともに、議員辞職にあたり、「やはり人間は年齢には勝てないものか」「やり残したことはないと思っているかな」「辞職に悔いはなかったのか」などと考えてしまいます。そんなことを思っているうちに、私たち現議員も改選まで1年余りです。

町政のみならず、議会も様々な課題が多くあることは議員誰もが認識はしているものの、残りの任期内でどこまで議会と町のために何ができるのか断言できませんが、同僚議員とともに今任期を精一杯全うしたいと考える今日この頃です。

浜崎氏に格好いい言葉は贈れませんが、心から素直に言わせていただきます。

「長い間お疲れ様、そしてお世話になりありがとうございました。今後も後輩議員たちを見守り、応援して下さいね」

文責　小坂 孝純

穴水町議会広報編集特別委員会
委員長　小谷 政一
副委員長　宮本 浩司
委員　大中 正司
委員　小坂 孝純

発行 穴水町議会　編集 穴水町議会広報編集特別委員会
〒927－8601 石川県鳳珠郡穴水町字川島ラの174番地　TEL 0768－52－3700

町議会記録はこちらから▶